



平成 16 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 アルゼ株式会社
代表者名 代表取締役社長 阿南一成
(登録銘柄・コード 6425)
問合せ先 総合企画室
室長代行 清川 光雄
電 話 03 - 5530 - 3055(代表)

当社子会社（株式会社セタ）の中間・通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である株式会社セタは、平成 16 年 5 月 25 日付同社「決算短信」及び「個別財務諸表の概要」にて発表致しました同社の平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）中間及び通期の業績予想につきまして、別添資料のとおり、修正しましたので、お知らせ致します。なお、当社の連結業績予想につきましては、平成 16 年 10 月 28 日付「平成 17 年 3 月期中間・通期業績予想の修正、特別損失の発生及び中間配当予想の修正に関するお知らせ」にて発表致しました通りです。

以 上

別添資料として、当該子会社の開示資料を添付しております。



平成 16 年 10 月 29 日

各 位

会社名 株式会社セタ
代表者名 代表取締役社長 野中 誠之
(登録銘柄 コード番号 4670)
問合せ先 経営企画室長 河合 宏昌
電話 03 - 3599 - 2520

平成 17 年 3 月期中間・通期 (連結・単独) 業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成 17 年 3 月期 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 16 年 5 月 25 日付当社「決算短信」及び同日付当社「個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正致します。

記

1. 平成 17 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	1,687	98	99
今回修正 (B)	900	133	177
増減額 (B - A)	787	231	276
増減率	46.7%	-	-

(2) 修正理由

当社は、パチンコ機向け多機能型 IC カードシステム「PC4」を本年 3 月より市場に導入致しました。「PC4」は、10 枚の IC カードをサンドユニットにストックすることにより、遊技者及び遊技場の利便性を大幅に向上させたシステムで、導入当初より市場での評判も好く、受注状況も好調に推移致しております。しかしながら、初期導入段階において販売体制を見直したことにより本格的な販売開始が遅れ、当初の販売目標を達成するまでには至りませんでした。

その為、今中間期の業績は、今第二四半期において遊技機向け映像コンテンツのロイヤリティ収入が貢献し 16 百万円の経常利益を計上致しましたものの、売上・利益ともに当初計画を大幅に下回

る見込となりました。

更に、業務用ゲーム機用基板の在庫整理に伴い在庫評価損 35 百万円を特別損失に計上致します。

(3) 通期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	6,520	1,296	1,299
今回修正(B)	3,600	312	232
増減額(B-A)	2,920	984	1,067
増減率	44.8%	75.9%	82.1%

(4) 修正理由

遊技機周辺機器関連事業部門

下半期においては、9 月より販売を再開した「PC4」に加え、新製品となる 4 金種タイプ、紙幣ストックタイプ、パチスロ機向け IC カードシステムサンドユニットを本年末までに市場に投入して参ります。更に、他社が提供する会員管理システムとの連動を可能にし、遊技場のニーズに細かく対応した豊富な製品をラインアップすることにより、マーケットシェアの拡大をはかりますが、本格的な販売開始の遅れを挽回するまでには至らず、通期の売上は、当初計画を下回る見込です。尚、本年 11 月より発行の新札への対応は完了し、市場の動きに即時対応が可能となっております。

通信機器関連事業部門

当社は、本年 4 月 1 日付でユーディテック・ジャパン株式会社を吸収合併し、通信機器関連事業に参入致しました。今中間期中、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズが運用するホットスポットに当社のセキュリティーソフトが採用されました。また、当社と三菱商事との共同開発による IP 携帯端末向け基本ソフトは、大手通信機器メーカーに採用され、本ソフトを実装した端末機器が下期中に発売される見込です。更に、当部門の主力製品である IP 電話向け PBX「BaMBoo Link」は、8 月に地方自治体に納入し、その性能は検証済みです。「BaMBoo Link」に関しては、小規模から中規模の事業者をターゲットにした小型軽量のオールインタイプを新製品として下期に市場導入する予定であり、売上と利益を確保して参ります。

映像コンテンツ関連事業部門

当社は、本年 4 月 1 日付で株式会社企画デザイン工房戦船を吸収合併し、より魅力ある遊技機向けコンテンツを供給して参りますが、今中間期において、1 作品の遊技機向けコンテンツのロイヤリティ収入を計上致しました。下期においても、遊技機向けコンテンツの受注状況は好調に推移しております

以上、下期期間業績では連結・単独ともに利益黒字化をはかり、対前年実績では売上高で 249%、経常利益で 211%、当期純利益で 219%を達成する見込ですが、前回発表の通期業績予想に対しましては、連結・単独ともに今中間期で発生した売上減の影響を挽回するまでには至らず、通期業績予想を修正致します。

(5) ご参考：前期の実績（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期（4/1～9/30）	803	133	187
通期（4/1～3/31）	1,448	148	106

2. 平成17年3月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期（平成16年4月1日～平成16年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想（A）	1,658	91	92
今回修正（B）	876	141	185
増減額（B - A）	782	232	277
増減率	47.2%	-	-

(2) 通期（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	6,434	1,258	1,261
今回修正（B）	3,642	298	218
増減額（B - A）	2,792	960	1,043
増減率	43.4%	76.3%	82.7%

(3) ご参考：前期の実績（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期（4/1～9/30）	782	130	184
通期（4/1～3/31）	1,396	126	85

（注）上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

以 上